

令和7年度 第9学年 保健体育科 年間指導計画及び評価規準

学期	月	時数	体育分野	保健分野	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	4	9	オリエンテーション（集団行動）③ 陸上(短距離・リレー)⑪		【知識】 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 【技能】 ・短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡しで次走者のスピードを十分高めることができる。	・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	・陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとする事、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などをしたり、健康・安全を確保したりしている。
	5	10	体育理論③		【知識】 ・文化としてのスポーツの意義について理解している。 ※体育理論については「技能」に係る評価の対象がないことから、「技能」の評価規準は設定していない。	・文化としてのスポーツの意義について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	・文化としてのスポーツの意義についての学習に自主的に取り組もうとしている。
	6	11	体ほぐしの運動② 実生活に生かす運動の計画⑤	感染症の予防と健康を守る 社会の取り組み⑧	【保健】 ・感染症は、病原体が主な要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できることを理解している。 ・健康の保持増進や疾病の予防のためには、個人や社会の取組が重要であり、保健・医療機関を有効に利用することが必要であること。また、医薬品は、正しく使用することを理解している。 【知識】 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 ※「体づくり運動」の体ほぐしの運動は、技能の習得・向上をねらいとするものでないこと、実生活に生かす運動の計画は、運動の計画を立てることが主な目的となることから、「技能」の評価規準は設定していない。	・健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・健康な生活と疾病の予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。 ・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話合いに貢献しようとする事などをしたり、健康・安全を確保したりしている。
7	7	水泳⑨		【知識】 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 【技能】 ・クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。 ・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。 ・背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。 ・バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。 ・複数の泳法で泳ぐこと、又はリレーをすることができる。	・泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	・水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとする事、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などをしたり、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。	
2	9	11	器械運動（マット運動）⑥ 球技（ネット型・バレーボール）⑧		【知識】 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 【知識】 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 【技能】 ・ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。	・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 ・攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	・陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとする事、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などをしたり、健康・安全を確保したりしている。 ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
	10	10	陸上（跳躍・走り幅跳び、走り高跳び）⑥		【知識】 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 【技能】 ・走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶこと。走り高跳びでは、リズムカルな助走から力強く踏み切り滑らかな空間動作で跳ぶこと。 ・走り高跳びでは、リズムカルな助走から力強く踏み切って大きな動作で跳ぶことができる。		・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
	11	10	現代的なリズムのダンス⑦	環境の健康への影響⑩	【保健】 ・身体には、環境に対してある程度まで適応能力があること。身体の適応能力を超えた環境は、健康に影響を及ぼすことがあること。また、快適で能率のよい生活を送るための温度、湿度や明るさには一定の範囲があることを理解している。 ・飲料水や空気は、健康と密接な関わりがあること。また、飲料水や空気を衛生的に保つには、基準に適合するよう管理する必要があることを理解している。 ・人間の生活によって生じた廃棄物は、環境の保全に十分配慮し、環境を汚染しないように衛生的に処理する必要があることを理解している。	・健康と環境に関する情報から課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。	・健康と環境についての学習に自主的に取り組もうとしている。
	12	10	球技（ベースボール型・ソフトボール）⑥		【知識】 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 【技能】 ・ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。	・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとする事、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などをしたり、健康・安全を確保したりしている。
	1	8	武道（剣道・柔道）⑤		【知識】 ・伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などについて理解している。 【技能】 ・剣道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をすることができる。 ・柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手の崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をすることができる。	・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
	2	10	球技（ゴール型・ハンドボール）⑨		【知識】 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 【技能】 ・ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。	・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
3	3	9	球技（ゴール型・バスケットボール）⑨		【知識】 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 【技能】 ・ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。	・攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。
	予備【5】						
	105	体育89時間 保健16時間		* 知識においては上記の内容を定期テスト及び、体育カードで確認する。 * 技能は実技テスト、授業観察で確認する。 * 必要に応じてタブレットを活用して授業を展開する。	* 授業観察、定期テスト、体育カードで確認する。 * 必要に応じてタブレットを活用して授業を展開する。	* 授業観察、定期テスト、体育カードで確認する。 * 必要に応じてタブレットを活用して授業を展開する。	